

＜一般社団法人 佐賀県作業療法士会 運営会議 議事録＞

日時：平成24年5月8日（火）19：00～21：00

場所：アイスクエアビル 大会議室にて

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、川辺、原、佐藤、村岡、米田、小松、鶴田、本山、熊谷

I. 会長報告事項

1. OT 協会関連

1) 社員総会

平成24年5月26日（土）笹川記念会館（東京都）にて。倉富会長、山口副会長、小池副会長出席。

2) 都道府県連絡協議会総会

平成24年6月14日（木）14：30～16：30、シーガイアコンベンションセンター4F フェニックス（宮崎）にて。倉富会長出席

2. 九州士会長会関連

1) 第1回九州地区作業療法士会士会長会議

平成24年6月14日（木）16：30～18：30、シーガイアコンベンションセンター4F フェニックス（宮崎）にて。倉富会長出席

- ・36回合同学会は佐賀県。学会準備委員会を平成24年6月頃には立ち上げる予定。

3. 一般社団法人化

4月2日に相原司法書士より連絡があり、一般社団法人の登記が無事に終了した。設立年月日は平成24年4月2日。

4. 県関連

1) 佐賀県介護実習普及センターとの連携

平成24年度より開始。詳細は佐藤事業部長より報告。

2) 佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

平成24年5月22日（火）19：00～20：30 県庁、倉富会長出席

5. 佐賀県難病支援の会総会 平成24年6月3日（学会と重なっているため今年度は欠席）

II. 各部局からの報告

1) 学術局（江渡学術局長より報告）

- ・平成24年度分の学術局管轄研修の開催日時、場所、講師など全て決定。各会員へ連絡およびホームページに掲載する。協賛研修も決定済み。
- ・平成24年6月2日10：30～共通研修開催。

2) 事務局（川辺事務局長より報告）

- ・平成24年3月時点での会員は430名。一般社団法人化後、現会員数は340名である。
- ・5月中旬には平成23年度決算総会資料発送予定。
- ・その他として、「生活行為向上マネジメント」の伝達講習会を5月13日開催。参加申し込み数は39名。

3) 財務部（原財務部長より報告）

- ・平成23年度決算は森監事に監査依頼中。

4) 広報部

- ・ 広報部全体会議報告。

5) 事業部（佐藤事業部長より報告）

- ・ 事業部会を開き、各地区から 8 名の部員にて、業務内容を確認し、作業療法士の職域拡大、啓発事業を中心に活動していくこととなる。
- ・ 介護実習センターとの連携事業について。年度前半は事業部員の輪番制で行っていく。その後全会員を対象に展開していく。また福祉用具の相談のみではなく、幅を広げて相談を拡大していきたい。ポスターなどを作成し広報していく。保険に関しては、OT 協会の賠償保険（上乘セプラン）に加入する予定。介護実習センターからの謝金を利用していく。

6) 福利部（村岡福利部長より報告）

- ・ 6 月 3 日（日）学会時に T シャツ販売、引き渡しを行う予定。

7) 県学会の進捗状況（小松地区担当部長より報告）

- ・ 現在演題は 5 題の登録あり。2 セッションに分けて一般演題発表を行う。学会事前申し込み数は現在、29 名である。

III. 協議事項

1) 30 周年記念および一般社団法人化記念式典の進捗状況（小池副会長より報告）

- ・ 5 月 8 日現在、記念式典参加者数 90 名、記念講演参加者数 98 名、祝賀会への参加者数 93 名。
- ・ 当日の役割分担確認。来賓出席は 10 名ほど、事務局にて確認を行う。

2) 作業療法士の仕事に対する満足度調査の実施について

3) その他

①佐賀県士会における講師謝金や旅費規程、運営スタッフの活動費のあり方について

（江渡学術局長より提案）

- ・ OT 協会の謝金規定、旅費規程を参考に考案する。
- ・ 会員の旅費（宿泊、交通費）に関しては、従来通り、実費支払いとする。
- ・ 運営スタッフの活動費は交通費として改め、今年度は一律 500 円とする。但し 40km 以上で高速利用は実費支払いとする。
- ・ 運営スタッフの弁当代はお茶代込みで 650 円を上限とする。
- ・ 講師謝金に関しては、継続審議が必要。

⇒承認

②県士会の活動に対する保険について

- ・ 活動中の保険についても検討する必要があるのでは？保険金などを考慮すると、イベント毎に保険をかけるのが現実的である。今後検討していく。